



コミュニティ通信

コミュニティ通信は、地域の様々な取り組みを紹介し、皆様に“コミュニティや地域活動にもっと興味を持っていただきたい”“身近に感じていただきたい”、そんな思いを反映して発行しています。



今号のテーマは**共働**です

～地域が企業や公民館と共働で行っている取り組みについて紹介します～



とくにん・ふくふくコンサート ～いつも音楽のある街～

当仁校区では、福岡市市民福祉プラザの「ふくふくホール」でコンサートを開催しています。校区内の高校等との共働により、子どもからお年寄りまで、身近に楽しめる音楽を通したまちづくりについてご紹介します。



詳しくは中面へ



とうにん・ふくふくコンサート ~いつも音楽のある街~

はじめたきっかけ

福岡大学附属若葉高校の出口教諭が、校区内にある「ふくふくホール」を活用できないだろうか、と当仁校区自治協議会の木立会長に相談したところ、地域の方が気軽に足を運べて、音楽を身近に感じられるコンサートを開こうということになり、平成25年の夏、「とうにん・ふくふくコンサート~いつも音楽のある街~」がスタートしました。

コンサートに向けての準備

自治協議会の木立会長、横尾副会長、会計の篠原さん、若葉高校の出口教諭等による実行委員会で、運営や宣伝方法などを話し合います。



出口教諭 木立会長 篠原さん

コンサートの様子



これまでに、若葉高校の生徒による声楽、大阪音楽大学の金管楽器、音楽家によるピアノとフルート演奏からゴスペルまで、様々なジャンルの演奏会を開催し、平成27年12月でコンサートは22回を数えました。

工夫していること・よかったこと

気軽に参加できるよう「参加無料」とするため、演奏者と『ノーギャラ』交渉をしたり、運営にボランティアを募ったりしています。「クラシックだけど普段着で立ち寄れるコンサート」として浸透し、心待ちにしている方も増え、中高生が演奏する日は同世代も多く、まさに老若男女が集うコンサートです。



受付や案内は、ボランティアで運営しています。

この看板も手作りです！



とうにん・ふくふくコンサートへの思い (当仁校区自治協議会 木立会長より)



このコンサートを通してより一層活発な街づくりが進むことを期待しています。そして、出演者の中から世界を舞台に活躍する音楽家が生まれたら、素晴らしいですね。



東区

香椎下原
校区

地域の企業や医療法人と連携!

～祭り会場へ無料バスを運行～



「長谷ダム水がめまつり」は平成7年に、山の「命の水」に感謝し、地域文化の向上と住民相互のふれあい交流を図ることを目的に、「長谷ダム映画祭&水がめまつり」として始まりました。以来、地域の主催により毎年10月に開催され、平成28年で22回目を迎えます。ステージでの香椎下原小学校の和楽器クラブ、香椎第3中学校、香椎高校の吹奏楽部の演奏など、香椎下原校区にかかわりのあるみんなで盛り上げるお祭りです。

しかし、会場の長谷ダムは三日月山のふもとにあり、公共交通機関はなく、駐車場も限られているため、会場に足を運ぶことは容易ではなく、特にご高齢の方にとって負担を伴います。

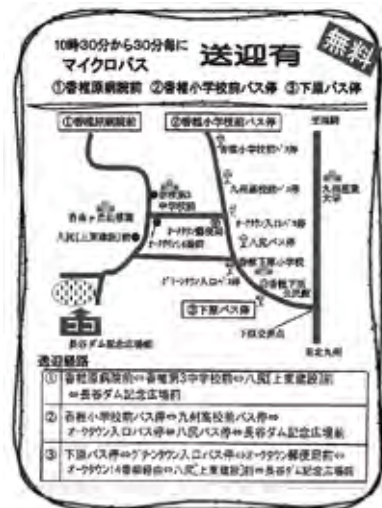
そこで、少しでも多くの方にご来場いただくよう、10年ほど前から、会場までの無料送迎バスを運行しています。送迎バスは、3ルートをおきに運行しており、参加者の足として定着しています。

運行は、「株式会社香栄社」と「医療法人和仁会」が自社のマイクロバスを提供し、運転もそれぞれの社員がしてくれています。きっかけは校区内に本社がある香栄社から「何か地域に貢献したい」とのご相談をいただいたことでした。同じ思いを持っていた和仁会にも声をかけていただき、2社によるバスの運行が始まり、今まで続いています。また、「香椎丘リハビリテーション病院」には平成27年から、ステージイベント出演者の機材の運搬をしてもらっています。

香椎下原校区自治協議会の丸岡会長は、「高齢化が進む校区にあつて、企業や医療法人などと一緒に校区の活性化に取り組むことは、今後ますます重要になっていく。」と語っています。



マイクロバス



香椎高校吹奏楽部

西区

小呂
校区

小呂島の魅力ある島づくり、進んでいます!

～「小呂島漁師のしまごはん」の開発と「いきいきサロン」の開設～

小呂島は、姪浜渡船場から約65分、玄界灘に浮かぶひょうたん型の島です。島には約70世帯、約200の方が暮らし、多くの方が漁業に従事しています。豊かな漁場ときれいな海に恵まれ、ブリやヒラメ、アジなどの海産物は抜群、福岡市の重要な水産拠点です。今回は、島づくりの取組み二つを紹介します。

1つは、特産品「小呂島漁師のしまごはん」の開発です。玄界灘で獲れた天然ブリをしょうゆに漬けて焼きほぐしたフレークで、漁師料理をベースにしたもの。ご飯にかけて食べると最高です。魅力ある島づくりを進める「しまづくり協議会」の若手グループが中心となって調査・研究を重ね、行政の支援も引き出しながら、島民一丸となって商品化しました。島の魅力を伝える逸品を是非味わってみてください。

もう1つは、介護予防「いきいきサロン」の開設です。平成27年10月、島民サポーターの方々を中心に、西保健所との共働で開設しました。月に数回、介護予防の勉強を重ねた島民サポーターが、お年寄りの健康維持や認知症予防のためにレクリエーションや体操を行い、手作りのサロン運営を行っています。住み慣れた島で長く暮らしていくため、島内での介護予防の取組みが課題となっていました。今、大きな期待を集めています。



小呂島



小呂島漁師のしまごはん
(60g、税込540円、天神
岩田屋本店などで販売)
問合せ：市漁協小呂島支
所809-1560



介護予防「いきいきサロン」

城南区

鳥飼
校区

鳥飼チルドレンズミュージアム

鳥飼校区では、自治協議会青少年育成部と公民館が共催して、平成20年度から毎年11月に子どもたちが五感を通したものづくりの楽しさや、自然現象の不思議さを体験する「鳥飼チルドレンズミュージアム」を行っています。

平成27年度は、11月14日に開催し、子どもやその保護者など約800名の方が参加しました。

毎回、子どもたちに楽しんでもらえるように、地域の方や福岡大学生などのボランティア団体が協力して、様々なコーナーを準備しており、今回は、勾玉作り、空気砲遊び、液体窒素を使った超低温実験、缶バッジ作りなど16種類の体験コーナーで楽しんでもらいました。見られない素材や道具にふれる機会があり、子どもたちにとって良い経験になっていると思います。

この事業が、子どもたちの健やかな成長や地域での見守りに繋がるように、みんなで協力していきます。



勾玉作り



超低温実験



缶バッジ作り

報告

第4回 福岡市自治協議会サミットを開催しました！



福岡市では、11月27日(金)ももちパレスにおいて、「自治協議会サミット」を開催しました。自治活動に貢献いただいた地域活動実践者の方々に感謝状を贈呈する「自治貢献者感謝状贈呈式」や、校区で地域活動されている団体の皆さまからの活動事例の発表、企業やNPOなどの地域活動への参加などについてのパネルディスカッションなど、今後の地域活動のスキルアップの機会となるように実施しており、今回で第4回目を迎えました。

また、今年は、地域の交流の場として広がりつつある「地域カフェ」を体験していただくため、城南区堤公民館で毎月開催されている「つつみカフェ」に特別に出張開催していただきました。

当日は、約600名の方々にご来場いただき、「各校区の具体的な取組みが非常に参考になった」「パネルディスカッションをもっと聞きたかった」などのご意見をいただきました。



お知らせ 「“ふくおか”地域の絆応援団」を募集しています!!

自治協議会や自治会・町内会などの地域団体が行っている地域活動を、様々な形で応援している企業や事業所、商店街などに、「“ふくおか”地域の絆応援団」として登録していただき、さらなる企業・商店街の地域活動への参加を促進します。詳しくは福岡市HPをご覧ください。



“ふくおか”地域の絆応援団

検索

●福岡市コミュニティ通信は福岡市のホームページに掲載しています。

福岡市コミュニティ通信

検索

●J:COMでは福岡の地域情報を発信しています。

ふくおかまいCOM

検索

お問い合わせ・地域の情報などは各区分所地域支援課まで

東 区役所 ☎092-645-1041 FAX:092-645-1042
博多区役所 ☎092-419-1048 FAX:092-434-0053
中央区役所 ☎092-718-1062 FAX:092-714-2141
南 区役所 ☎092-559-5072 FAX:092-562-3824

城南区役所 ☎092-833-4063 FAX:092-822-2142
早良区役所 ☎092-833-4416 FAX:092-851-2680
西 区役所 ☎092-895-7036 FAX:092-882-2137

次号は「交流(国際・絆づくりなど)」をテーマにお届けいたします!